

## 平成27年度 行事 総括

行事回数：60回(49)

参加者：106名(90)

延参加者：583名(407)

延参加日数：824日(585)

(括弧内は昨年度)

本年度は、持経宿改築を5月に着工し8月に竣工出来た事から、持経宿改築竣工祝賀会に併せ、1年遅れとなりますが新宮山彦館るーぶ創立40周年記念祝賀会を11月末に開催する事にしました。

秋の褒章発表(11月3日)で玉岡憲明相談役が、長年の南奥駈道再興の社会奉仕活動の功績が認められ「緑綬褒章」を受賞され、急遽トリプル慶事の祝賀会開催になりました。

これら行事遂行に際して、多くの方々から持経宿改築に浄財・寄付金及び祝賀会開催にご祝儀等を賜わり、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

前記の行事に賛同頂き、昨年に比べて行事回数22%、延参加者43%、延参加日数41%といずれも大幅に増加しました。

さて、行仙宿・平治宿は、築25年が経過し、これから維持費がかかる事になり、今後かさむ維持費に対処するため、当館るーぶが管理する小屋3棟の宿泊料金は、本年4月より一泊千円以上から二千円以上に値上げしました。

特筆事項として、当館るーぶ名誉会長・塩川正十郎先生が、9月19日に93歳でご逝去され、これまで物心両面でご支援を賜わり、心より感謝を申し上げますと共に先生のご冥福をお祈りいたします。

この一年を振り返ると十項目の特記事項があったので、列挙いたします。

### 一、新春初山行 十津川村・ブナ山(Ⅱ△1119.5m)

実施日：1月3日、元旦からの寒波襲来で高津集落への急傾斜道路は約10cmの積雪でどうにか走行でき、西熊野街道を辿り高津峠より新雪尾根を辿る。吹き溜まりでは30から40cmの新雪を踏み分け、新雪に埋もれた三角点を掘り出し16名が登頂した。風が弱く晴天に恵まれたが積雪で予定より遅れ、高時山往復は出来なかった。雪上での焚火を囲んで楽しい一時を過ごし、幸先の良い年度初行事となった。

### 二、J-Powers 広報誌の取材対応と協力

3月11日：電源開発(株)橋本送電所(10月に橋本流通事業所に改名)の地域貢献活動を社誌で紹介する取材が、行仙宿への寄贈品(飲料水・缶パン・木炭・ガスカートリッジ)荷上げ時との事で対応し協力した。

J-Powers 広報誌4月号に掲載された。

### 三、南奥駈道(持経宿く太古ノ辻)間の倒伏石柱道標復元

4月11日～12日：十津川村役場の要請もあり、南奥駈道の連休前点検整備の際に、倒伏(3本)並びに傾いた(6本)石柱道標を略垂直に復元した。本年晩秋まで維持されているが、一冬越えてから成果を評価する必要があります。

### 四、持経宿改築

5月22日～8月23日：木下棟梁は、梅雨の晴間を縫って作業して下さり、行事回数20回、計34日、延241人(木下棟梁以下職人延63人)により、行仙宿に匹敵する小屋に竣工出来ました。尚、不動堂の屋根葺き替え(有)松本板金工業所・無償提供)も実施した。

皆様からの浄財・寄付金は、517万円(別途、木材提供50万円あり)賜わり、支出は400万円となり、お陰様で特別会計に100万円積立し、残金は一般会計に組入れた。

#### 五、十二支会特別例会「羊蹄山」協賛ツアー

6月26日(30日)；十二支会特別例会「羊蹄山」に協賛したツアーに23名が参加した。新千歳空港で集合しレンタカー3台で洞爺湖温泉へ。27日ニセコアンヌプリ(I△1308.5m)に全員登頂。一瞬の雲の切れ間からニセコ町並み日本海を眺望し、前夜祭会場へ。会場のホテルニセコアルペンに計35名が集う。

28日小雨降る中、31名(当ぐるーぶ20名)が羊蹄山(I△1892.7m)に登頂し、定山溪温泉泊。29日大雪山山系・旭岳(I△2290.9m)へ22名が登頂、幸運にも雲海上は青空の晴間が拡がり眺望が楽しめた、東神楽温泉泊。30日、中富良野散策とサップロビール園に立寄り、新千歳空港で解散した。

南奥駈道以外の遠出の行事は、久しぶりで新鮮味が、今後活動の一環として検討して行きたい。

#### 六、持経宿改築に伴う取材協力(奈良新聞・NHK和歌山テレビ)

7月26日；奈良新聞取材、8月24日奈良新聞一面に掲載。  
8月09日；NHK和歌山テレビ取材。8月17日NHK和歌山テレビ「明日のWA!」で取材放映、その後NHK近畿圏で放映された。

#### 七、太古ノ辻「これより 大峯・南奥駈道」の記念道標の更新

9月19日；昭和59年6月より「千日刈峰行」と名付けて一次刈峰行に3年・延315日を費やし、藪に埋もれた南奥駈道がよみがえった再興記念に、昭和61年秋に道標が設置されました。

設置後30年を経て標柱の腐朽が激しく、1年前より村吉光夫氏が防腐剤含浸丸太を調達し、カツラ板に同一揮毫の案内道標に加工仕上げして下さいました。

先輩諸兄の苦勞を偲ぶ体験の一大イベント行事として27名が参加し更新した。

#### 八、当ぐるーぶ名誉会長・塩川正十郎先生ご逝去

9月19日；太古ノ辻の記念道標更新の帰路、先生訃報の連絡があり、何故かしら当ぐるーぶとの繋がりご縁を感じた次第です。

先生には、行仙宿建築時の助言と先生揮毫の行仙宿「山林抖擻」の扁額、そして平成19年より名誉会長に就任頂く共に毎年10万円のご援助頂くなど、物心両面でご支援ご協力賜わり感謝と共に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

9月24日；塩川正十郎先生の合同葬「自民党・塩川家(吹田 2市・千里会館)」に参列しお別れをした。

#### 九、秋の褒章発表で玉岡憲明相談役「緑綬褒章」受賞

11月3日の秋の褒章発表で、長年の南奥駈道再興の社会奉仕活動の功績が認められ「緑綬褒章」を受賞されました、誠におめでとうございます。

11月9日に環境省で環境大臣から賞状が授与され、宮中で拝謁される事になりましたが、体調不良の理由で欠席されました。

#### 十、新宮山彦ぐるーぶ創立40周年並びに持経宿改築竣工

##### 玉岡憲明相談役「緑綬褒章受賞」祝賀会

11月28日；祝賀会は南紀勝浦温泉・ホテル浦島にて、招待者12名を含め遠方・各地から115名のご臨席を賜わり、盛大に催行することが出来ました。

参列者の記念撮影後、式次第は吉開賢淳師の祝い法螺で始まり、沖崎世話人の司会により、佐々木俊岳・範士九段の四方払い、世話人代表挨拶がある。

来賓紹介後、来賓代表の田岡新宮市長、聖護院門跡・草分教務部長から祝辞を頂戴した。

東牟婁振興局局長の計らいで玉岡憲明氏に緑綬褒章受賞伝達式が行われ、新宮山彦ぐるーぷ会員・会友一同から御祝金と伊賀敷さんのお孫さん金子 桜ちゃんから花束贈呈後、玉岡憲明受賞者の挨拶。

その後、当ぐるーぷ名誉会友・茂原 治先生(医療法人やまびこ会・腎循環器もはらクリニック理事長)から寄贈頂いた酒樽と祝耕で田岡新宮市長、南下北山村村長、熊野修験代表高木亮英・青岸渡寺副住職、名誉会友・茂原先生、川島世話人代表で鏡割りが行われ、南下北山村村長の乾杯音頭で開宴。

記念品は、創立40周年は、平成17年シチズン・オブ・ザ・イヤ―賞を頂いたことからシチズン電波時計、持経宿改築竣工は紅白餅とした。

熊野水軍太鼓の響で余興となり、花笠音頭等の踊り、山の唄等で盛り上がりと共に歓談の輪が広がり懇親が深まり、宴たけなわであったがファイナーレ総踊り後、山上世話人副代表の閉式の辞で盛大成功裡に一次会は終宴した。

本祝賀会に際して、ご列席頂いた方他ご賛同頂いた方々から、心温まる御祝儀、御祝品を頂戴し、改めて厚く御礼を申し上げます。

お蔭様で収支会計決算の結果、約27万円が一般会計に組入れ

出来ました。

最後に、27年度の行事遂行に会友の皆さんからご支援ご協力を賜り感謝とお礼を申し上げます。

尚、世話人・会友は、年配者が多くなり一部会友に偏りがちで、次世代に引継ぐ為の新会友の勧奨に努める必要があります。

28年度には、笠捨山の捲き道(旧通信道)補修、行仙宿屋根ペンキ塗替えのなどの懸案事項があり、皆様方には行事への参加奉仕に一層ご支援ご協力をお願いする次第です。

(文責 川島)